

スイッチオーバーを手動で実行し、サーバの自動再起動が行われることを確認します。その後、マスタ・レプリカそれぞれのコンピュータ名が変更され、DNSサーバ上のマスタのAレコードがレプリカと同じIPアドレスになっていることを確認します。

また、管理サーバのデスクトップにある「第1ソリューション営業部 (¥¥Master)」へのショートカットを使ってこれまで通り共有フォルダにアクセスできる事も確認します。

# スイッチオーバーの実行

CA ARCserve RHA マネージャ - @CONTROL:8088

シナリオ 編集 イベント 表示 ヘルプ

シナリオ ビュー クラウド ビュー スwitchオーバーの実行 (P) リモート インストール モニタ ホスト メンテナンス モニタ

シナリオ

シナリオ	状態	製品	サーバ	モード		
ファイルサーバ	実行中	HA	FileServer	オンライン		
ホスト	変更済み	送信データ	送信ファイル	受信データ	受信ファイル	スプール形...
MASTER	0.00 バイト	0.00 バイト	0	-	-	0.00 バイト
REPLICA	0.00 バイト	-	-	0.00 バイト	0	0.00 バイト

アクティブ MASTER

スタンバイ REPLICA

0% (スプールの割合)  
0.00 バイト

変更済み:  
0.00 バイト

CA ARCserve RHA マネージャ - @CONTROL:8088

? X

スイッチオーバーを実行してもよろしいですか?

はい いいえ

ルート ディレクトリ プロパティ ハイ アベイラビリティ プロパティ 統計情報

イベント

ID	シーケンス	重大度	ホストシナリオ	時間	イベント
SR00202	33	重要	REPLICA	2012/08/07 18:01:27	同期処理中の変更はすべてレプリケートされました
IM00405	32	情報	ファイルサーバ	2012/08/07 18:01:25	2012/08/07 18:01:25 に作成された 同期 レポートを [レポート] ヘブスト

されました  
所日時のファイ

[スイッチオーバーの実行] ボタンをクリックし、  
スイッチオーバーを手動実行します。

# スイッチオーバーの実行

CA ARCserve RHA マネージャ - @CONTROL:8088

シナリオ 編集 イベント 表示 ツール ヘルプ

シナリオ ビュー クラウド ビュー スナップショット ビュー リモート インストール モニタ ホスト メンテナンス モニタ

シナリオ

シナリオ	状態	製品	サーバ	モード		
ファイルサーバ	スイッチオーバー HA	FileServer	オンライン			
MASTER	0.00 バイト	0.00 バイト	0	-	-	0.00 バイト
REPLICA	0.00 バイト	-	-	0.00 バイト	0	0.00 バイト

シナリオの統計情報

アクティブ MASTER スタンバイ REPLICA

0% (スプールの割合)  
0.00 バイト

変更済み:  
0.00 バイト

スイッチオーバーの進行中

0% (スプールの割合)  
0.00 バイト

変更済み:  
0.00 バイト

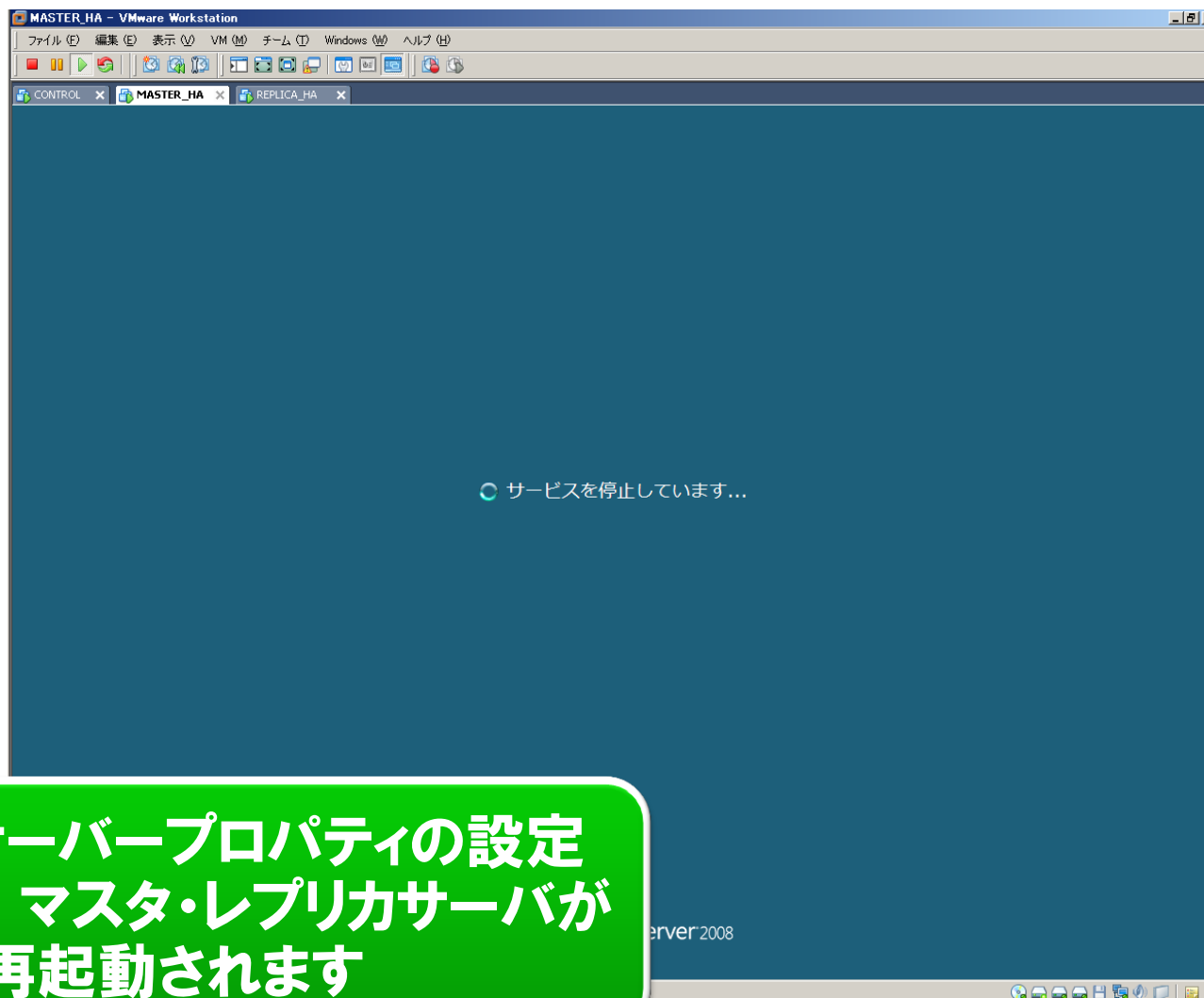
ルート ディレクトリ プロパティ ハイ アベイラビリティ プロパティ 統計情報

イベント

ID	シーケンス	重大度	ホストシナリオ	時間	イベント
IR00309	35	情報	MASTER	2012/08/07 18:02:36	共有を無効にしています
SR00181	34	重要	MASTER	2012/08/07 18:02:35	スイッチオーバー プロシージャを開始しています
				18:01:27	同期処理中の変更はすべてレプリケートされました
				25	2012/08/07 18:01:25 に作成された 同期 レポートを[レポート]へホストしています。
				01:25	同期処理が終了しました
				25	ルート ディレクトリ D:\第1ソリューション営業部 は同期されました
				01:19	ファイル 同期 を開始しています。(同一サイズ/更新日時 of ファイルを無視する)
				19	共有が有効になりました
				19	共有を有効にしています

スイッチオーバーが始まり、マスタ・レプリカそれぞれのコンピュータ名とマスタのDNSレコードが変更されます

# スイッチオーバーの実行

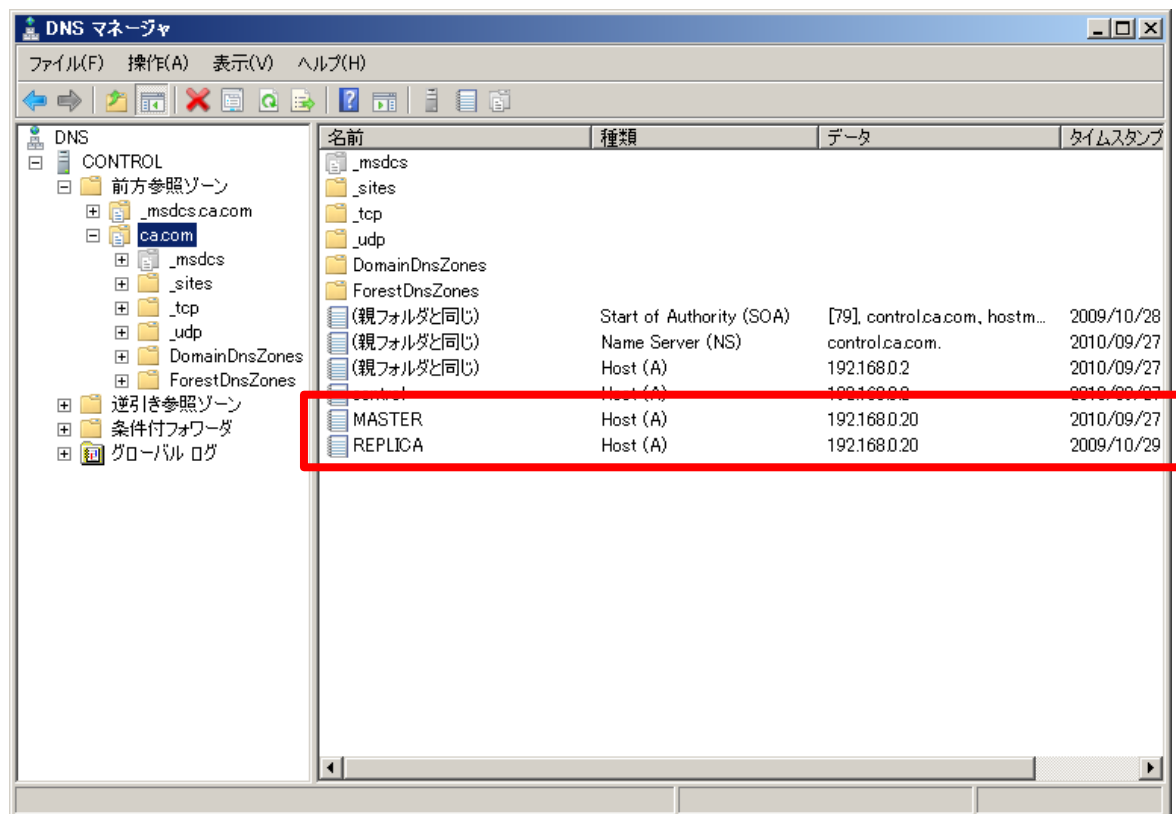


スイッチオーバープロパティの設定に基づき、マスタ・レプリカサーバがそれぞれ再起動されます

※デフォルト設定ではイベントに「<ホスト名>は今再起動されます」と表示された時間から120秒(2分)後に再起動が自動的行われます

# スイッチオーバーの実行後の確認 ～DNSレコード～

管理サーバのスタートメニューから [管理ツール] - [DNS] を開き、  
[前方参照ゾーン] - [ca.com] を選択します。マスタサーバとレプ  
リカサーバのIPアドレスが同一になっていることを確認します。



# スイッチオーバーの実行後の確認 ～コンピュータ名～

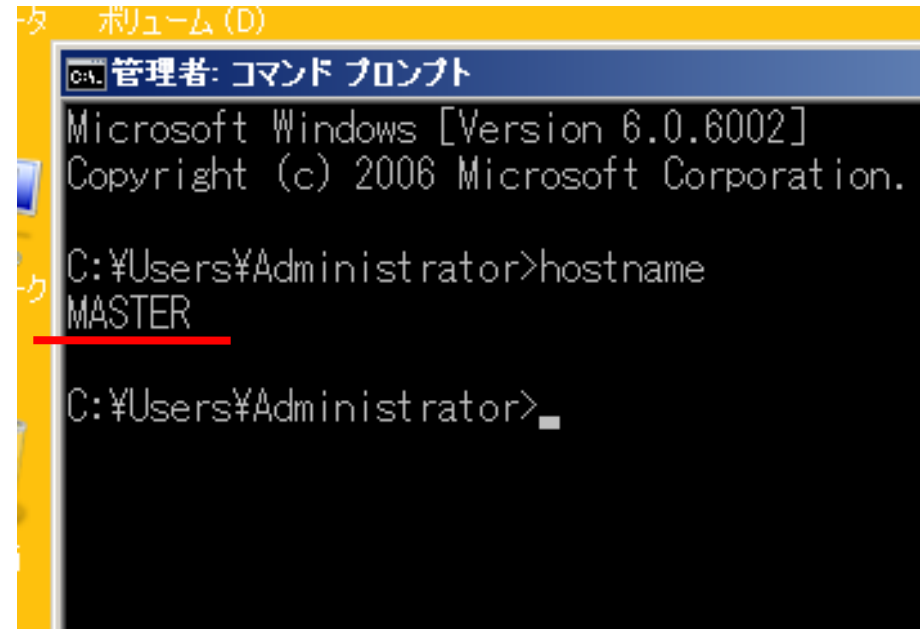
マスタ・レプリカ両方にログオンし、コマンドプロンプトでコンピュータ名が変更された事を確認します



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 6.0.6002]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.

C:\Users\Administrator>hostname
MASTER-RHA
C:\Users\Administrator>
```

マスタのコンピュータ名



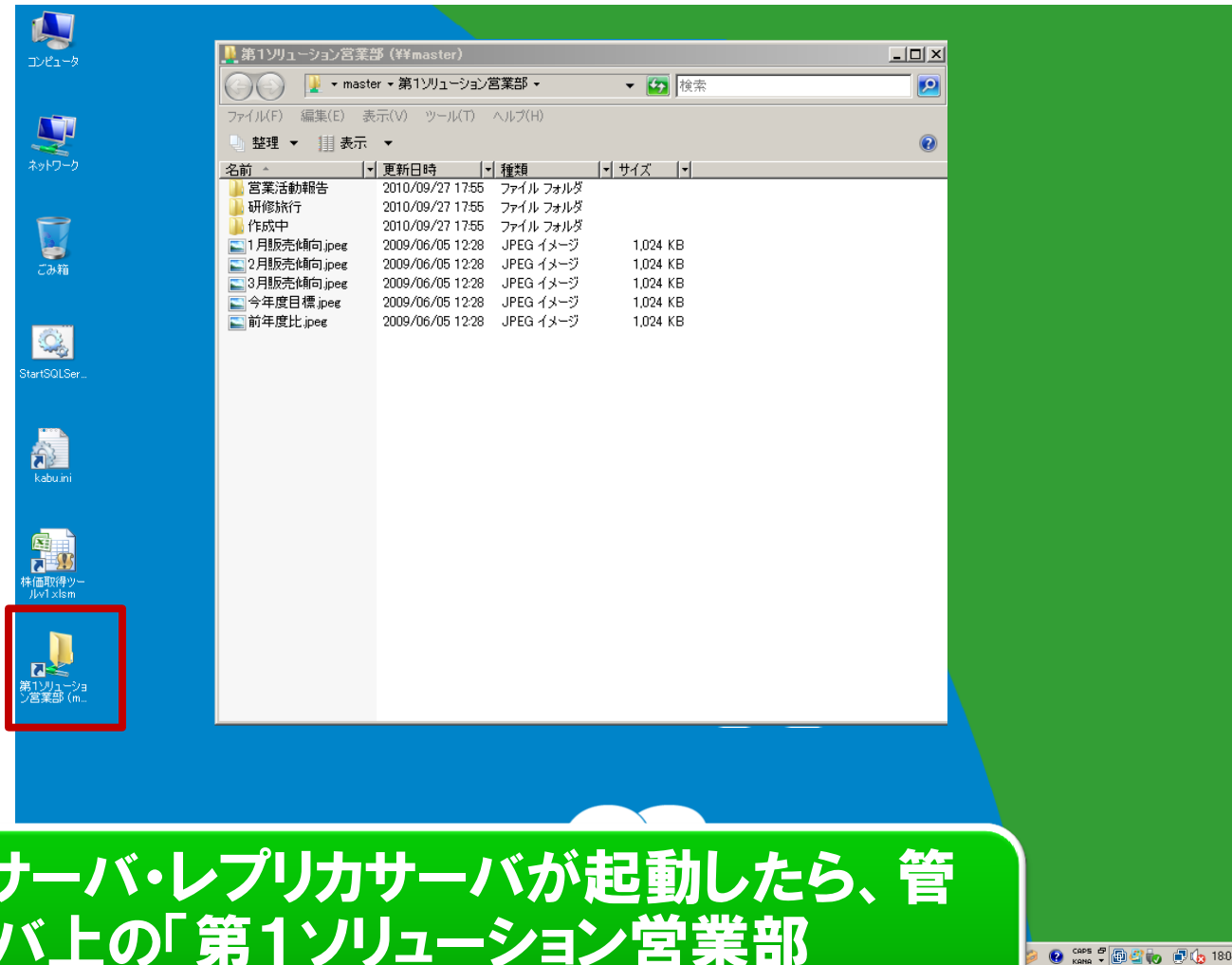
```
ボリューム (D)
管理者: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.0.6002]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.

C:\Users\Administrator>hostname
MASTER
C:\Users\Administrator>
```

レプリカのコンピュータ名

※ ログオンの際は「CTRL + ALT + INSERT」で！

# スイッチオーバー後のファイルサーバへのアクセス



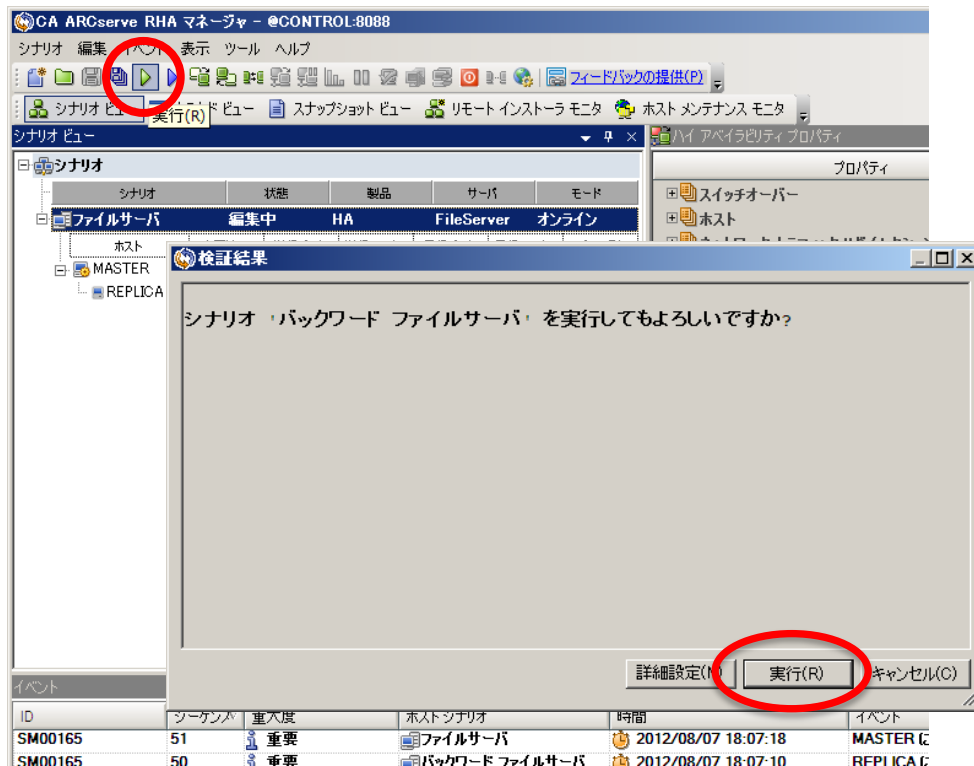
マスタサーバ・レプリカサーバが起動したら、管理サーバ上の「第1ソリューション営業部 (¥¥Master)」ショートカットを開きます

**シナリオを再び実行し、レプリカ ⇒ マスタへのリバース  
(逆向き)レプリケーションを開始します**

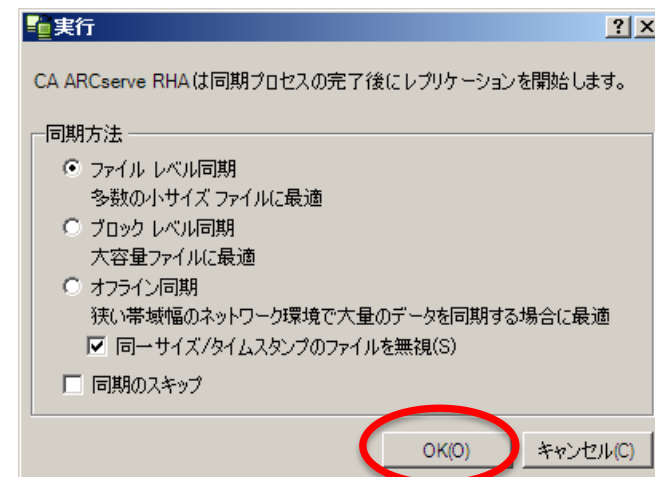
**その後、スイッチオーバーを再度実行し、マスタ・レプリ  
カのコンピュータ名とDNS Aレコードが元に戻る事を確  
認します**



# リバースレプリケーションとスイッチバック



シナリオを実行し、[検証結果] 画面で[実行]をクリック



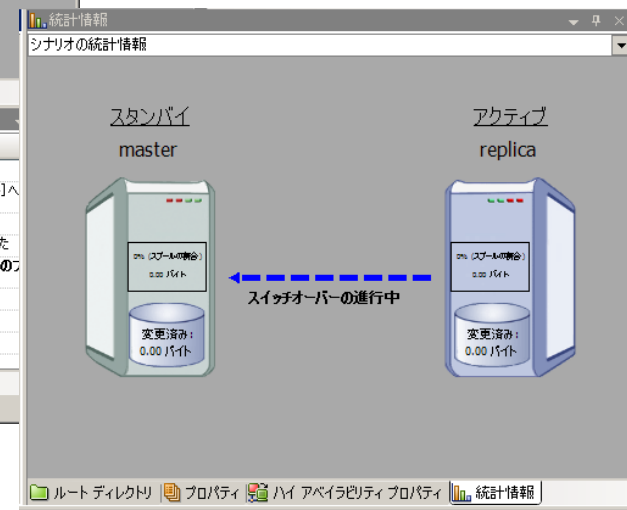
同期の方法を確認し、[OK]をクリック

# リバーズレプリケーションとスイッチバック

The screenshot shows the CA ARCserve RHA Manager interface. A red circle highlights the 'スイッチオーバーの実行(P)' button in the top toolbar. A dialog box is open, asking 'スイッチオーバーを実行してもよろしいですか?' (Do you want to execute the switchover?). The 'はい' (Yes) button is circled in red. In the background, a diagram shows a 'スタンバイ MASTER' and an 'アクティブ REPLICA' with a 'レプリケーション' arrow pointing from the replica to the master.

シナリオ	状態	製品	サーバ	モード		
バックワード ファイルサ...	実行中	HA	FileServer	オンライン		
HOST	変更済み	送信データ	送信ファイル	受信データ	受信ファイル	スプール形...
REPLICA	0.00 バイト	0.00 バイト	0	-	-	0.00 バイト
MASTER	0.00 バイト	-	-	0.00 バイト	0	0.00 バイト

ID	シーケンス	重大度	ホストシナリオ	時間	イベント
SR00202	60	重要	MASTER	2012/08/07 18:10:32	同期処理中の変更はすべてレプリケートされました
IM00405	59	情報	バックワードファイルサーバ	2012/08/07 18:10:28	2012/08/07 18:10:30 に作成された同期レポートを[レポート]へしています。
SR00120	57	重要	MASTER	2012/08/07 18:10:30	同期処理が終了しました
IR00119	56	情報	MASTER	2012/08/07 18:10:30	ルートディレクトリ D:\第1ソリューション営業部 は同期されました
SR00139	55	重要	REPLICA	2012/08/07 18:10:16	ファイル同期を開始しています。同一サイズ/更新日時でのフ



リバーズレプリケーションが開始されたのを確認したら、再度 [スイッチオーバーの実行] ボタンをクリックし、スイッチバックします

# リバーズレプリケーションとスイッチバック

```
C:\ 管理者: C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 6.0.6002]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.

C:\Users\Administrator>hostname
MASTER

C:\Users\Administrator>
```

```
C:\ 管理者: C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 6.0.6002]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.

C:\Users\administrator.CA>hostname
REPLICA

C:\Users\administrator.CA>
```

DNS マネージャ

ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)

名前	種類	データ	タイムスタンプ
CONTROL			
前方参照ゾーン			
_msdcs.ca.com			
ca.com			
逆引き参照ゾーン			
条件付フォワード			
グローバルログ			
_msdcs			
_sites			
_tcp			
_udp			
DomainDnsZones			
ForestDnsZones			
(親フォルダと同じ)	Start of Authority (SOA)	[93] control.ca.com, hostm...	2009/10/28
(親フォルダと同じ)	Name Server (NS)	control.ca.com.	2011/09/27
(親フォルダと同じ)	Host (A)	192.168.0.2	2011/09/27
control	Host (A)	192.168.0.2	2011/09/28
MASTER	Host (A)	192.168.0.10	2011/09/28
REPLICA	Host (A)	192.168.0.20	2009/10/29

マスタ・レプリカ再起動後にコンピュータ名およびDNSサーバのAレコードが元の状態に戻っていることを確認します